

6月定例議会

行政報告

(1)

平成22年6月定例議会は、6月15日に開会、6月25日までの会期で開かれました。議会初日には行政報告と上程された各議案の大綱質疑、また17日、18日には一般質問が行われました。この後各常任委員会で付託された議案を審議し、25日の最終日に採決が行われました。6月定例議会の行政報告についてお知らせします。

総務部関係

総務課

市民の皆さんに水害に関する情報を提供し、事前の備えに役立てていただくために、北秋田市洪水・土砂災害ハザードマップを作成し、5月1日号の市広報と一緒に全戸配布しています。

防災訓練は、5月26日、日本海中部地震から27年目となる、県民防災の日、消防本部と合同で北秋田市中心公民館を主会場に避難訓練等を実施し、災害等の有事に備え、体制や役割をそれぞれ確認しました。

総合政策課

平成20年度で創設された、地域活性化・生活対策臨時交付金関連事業は、道路・橋梁・側溝等維持改良事業、戸籍電算化システム導入事業など17事業を平成21年度に繰り越し実施しましたが、平成22年3月末をもって計画し

た全ての事業が完了しました。事業費の総額は6億6767万9722円です。

平成21年度で創設された、地域活性化・経済危機対策臨時交付金関連事業は、24事業中18事業が完了し、6事業が平成22年度に繰り越されます。平成21年度中の執行額は7億2368万1542円、繰越額は1億2365万円です。

「地域活性化・公共投資臨時交付金」及び「きめ細かな臨時交付金」は、全事業が平成22年度に繰り越しになりました。

仙北市と共に取り組んでいる秋田内陸地域公共交通活性化・再生総合事業は、4月の市民病院開院にあわせ、路線バス及び乗合タクシーによる実証運行を行っています。

行財政改革の取り組みとして広告掲載事業を行っています。平成22年度からはホームページのパナー広告

平成21年度のごみ搬入は、1万2271トンで、前年度比381トンの減少になりました。



市内全域で住民参加による春のクリーンアップ

総合窓口課

平成22年4月末現在の住民登録者数は、3万7452人で、その内訳は男1万7629人、女1万9823人、世帯数は1万4576世帯です。

一般旅券(パスポート)の申請・交付事務は、昨年10月1日から県より権限委譲され、市が窓口となっており、申請件数は、平成21年度末現在で235件、パスポート交付件数は213件です。

国民健康保険は、平成22年3月末現在の加入世帯数が6023世帯、被保険者数は9821人で、その内、前期高齢者は4293人です。

後期高齢者医療制度の、平成22年4月1日現在の被保険者数は7600

人で、その内、若年障害者認定数は255人です。

健康福祉部関係

福祉課

障害者自立支援法による自立支援給付の利用者は、4月1日現在で介護給付が124人、訓練等給付が74人、旧法施設入所等が109人、自立支援医療の更生医療が46人、育成医療が5人、精神通院医療が494人です。また、障害者生活支援センター「さえ」の相談支援事業は、年間延べ利用者数が前年とほぼ同じ3573人となっており、障害者のニーズに沿った支援が行われます。

4月に入園した公立8保育園と私立4保育園の園児878人は、元気に楽しい保育園生活を送っています。

平成22年4月から始まった「子ども手当」は、受給者に、子ども手当確認通知書、認定請求手続きのお知らせを送付し制度の周知を図っています。

市の単独事業、ひとり親家庭就学祝い金は、小中学校への入学時の経済支援として、本年度は小学生27人、中学生35人の児童生徒に交付しました。

北秋田市ハートフル倶楽部委員会では、県少子化対策局、あきた結婚支援センターと連携を図りながら、結婚サポーターとして独身男女の出会いの場を計画しています。

の応募枠を広げ、現在9事業者の広告を掲載。今後は広告を掲載する媒体を広げ、更なる歳入確保に向け取り組みを進めます。



路線バス・乗合タクシーによる実証運行が実施されました。

ふるさと会は、阿仁地区出身者による、東京圏あに会、総会が5月30日に開催され、約150人が参加しました。内陸線再生支援室

4月1日から、県の交通政策課秋田内陸線支援班と市の内陸線再生支援室の機能を合体させた、秋田内陸活性化本部が設置されました。県と市の一体化した組織が同じ場所と一緒に活動していくことで、内陸線に対する支援を一層効率的に推進していくことを目的とし、業務内容は内陸線の活用促進・サービス向上、沿線地域の活性化で、広域連携をはかりながら収支改善の目標達成に向けて取り組みを進めます。

高齢福祉課

高齢者障害者等外出支援サービスは、利用登録者数が466人で、延べ利用回数は7462回です。

食の自立支援サービス等は、利用登録者数が320人で、延べ利用食数は3万6809食と利用が伸びています。

家族介護慰労金は、登録人員が345人で、在宅介護者を支援しています。地域包括支援センターが受けた高齢者に関する相談件数は2984件で年々増えており、地域に向かいの介護予防教室を実施し、介護予防の普及に努めます。

ひまわりの家の利用者は年間4万1396人、1日平均1311人です。

医療推進課

市民病院の竣工式は、3月14日、関係者の出席のもと、式典及び祝賀会を行い新病院の完成を祝いました。

市民病院への患者移送は、4月1日に陸上自衛隊ほか関係機関の協力を得ながら、約70人の患者を無事に移送しました。外来診療は4月5日から実施しています。

北秋田市医療基本構想の見直しは、15人の委員を選任し、6月2日に第1回目の策定委員会を開催しました。

市民病院の利便性向上は、市民から寄せられた「意見・ご要望」に対処するため市と厚生連で、市民病院運営連絡協議会を設置し、6月4日に第1回

財務部関係

財政課

平成22年1月26日、5月25日までの工事等発注状況500万円以上)は43件、契約額は6億7009万円です。

税務課

平成22年度の当初課税状況は、軽自動車税は課税台数1万6332台、課税額が7280万6000円です。また、固定資産税は納税義務者数が1万7047人、課税額は15億3198万8000円です。

市民生活部関係

生活課

春のクリーンアップは、4月18日、市内全域で、約7000人の市民の参加により実施しました。当日は、中学校や各種団体、民間企業等のボランティアによるクリーンアップも行われました。

春の狂犬病予防注射及び犬の登録は、5月7日から6月12日まで109か所で巡回実施しました。

春の交通安全運動初日には、市役所本庁舎前と森吉庁舎前において総決起集会を開催。期間中は市民や交通指導隊による街頭指導等を実施し、交通安全の推進に努めました。

クリーンリサイクルセンターへの

目の協議会を開催しました。

健康推進課

成人検診事業は、集団検診方式・個別医療機関方式・ドック方式で実施、並行して各種がん検診も実施しています。

介護予防事業は、栄養教室、口腔機能向上教室、パワーリハビリ教室、運動教室の各事業を実施しています。

市民健康づくり事業の一環としてウォーキングは、4地区で開催予定です。



健康増進を図るウォーキング「マタギウオーク」を開催

母子保健事業は、乳幼児健診、育児相談、マタニティ講座等を行っています。

市立阿仁診療所
平成21年度の外來患者数は2万7385人、外來収益額はおよそ3億805万円です。

国民健康保険合川診療所
平成21年度の外來患者数は、1万4038人、外來収入額等はおよそ1億9189万7000円です。